

### 第3回 平成23年6月16日(木)

第3回の一泊塾は、講師に津田和明氏(サントリー 元副社長、大阪観光コンベンション協会会長)と、西川善文氏 三井住友銀行名誉顧問、元日本郵政 取締役兼代表執行役社長、三井住友銀行元頭取)をお迎えしました。



講師 津田 和明 氏



講師 西川 善文 氏

津田氏は、『「やってみなはれ」を実行した佐治敬三』と題し、サントリー(当時寿屋)を創業した鳥井信治郎氏の創業秘話や、その後を継ぎウイスキーの絶頂期にビール事業に再参入を決めた佐治敬三氏に身近に接して感じた人間的魅力をご披露頂きました。そしてサントリーに伝わる創業者のDNAとして、「やってみなはれ」という言葉のとおり、失敗を恐れずに新規事業の創業に取り組み続けるチャレンジ精神、PR誌の枠を超えて人気を博した小冊子「洋酒天国」や、大規模合唱コンサートとしてお馴染みの「サントリー1万人の第九」等の文化貢献の背景にある「利益三分主義(1/3 はお客様、もう1/3 は社会に還元)」に関わるエピソード等をご紹介頂きました。講義後の質疑応答では、「「やってみなはれ」を実行するための秘訣は？」等の質疑で大変盛り上がりしました。

西川氏は、『経営者の在り方—バンカーの経験を踏まえて—』と題し、長年企業経営者に接してきた経験から、経営者に求められる資質は、①リーダーシップ、②忍耐力(ストレスへの耐性)、③会社の実態を理解する能力、④私心を排し部下に公平、⑤先見性、であり、「経営者は現場経験と努力で磨かれる」等、ご自身の経験を踏まえたお話をご披露頂きました。そして、頭取時代の「経費圧縮のための100日作戦」のご苦労、日本郵政時代の様々なご苦労話をご披露頂きました。講義後は活発な質疑応答が行われ、「経験に裏打ちされた含蓄ある言葉に重みを感じた」等の声がありました。



特別ゲスト  
老川 祥一 氏



塾特別顧問  
福川 伸次 氏



講師  
渡邊 五郎 氏

講義後の懇親会では、本日ご登壇頂いた津田講師、西川講師に加え、渡邊五郎講師(森ビル特別顧問、元三井物産副社長)、塾特別顧問の福川伸次氏(機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官)も駆けつけて頂き、特別ゲストに老川祥一氏(読売新聞グループ本社 取締役最高顧問)をお迎えして賑やかに開催しました。

冒頭、次回の講師にご登壇頂く渡邊氏から「合宿であいましょう！」と乾杯のご挨拶を頂きました。そして老川氏からは、震災後の被災地復旧や仮設住宅問題等が山積しているのに具体的な対処策を打ちだせない日本の政治は自己決定能力を喪失している。また、企業は創意工夫により自ら市場を創造する必要があると、少子化に加え紙媒体メディアの衰退が語られる中で、小学館の協力を得て創刊し大変好評を得ている「読売 KODOMO 新聞」の創刊秘話をご披露頂きました。その後は、福川氏からは、6月1日に発売された震災からの緊急提言をまとめた著書「日本人の復興力」に関連したお話を頂き、塾生からは、密度の濃いお話をたくさん聞くことができ、大変刺激的な1日であった、との声がありました。